# 空間情報の統合・処理方法の開発と活用に関する検討

キーワード　デジタルツイン／レーザ測量／写真測量／空間情報処理／空間情報工学

## 研究概要

気候変動や異常気象に伴う自然災害や技術革新による社会環境の変容に応じたものなど様々な社会課題が多数発生しています。それらの多くは、空間情報をキーに解決できると考えます。例えば、都市モデルを用いたデジタルツインは、生活の安全安心の評価を可能とし、空飛ぶクルマやドローン配送の安全管理に欠かせません。

図は測量機在庫を対象に地上型レーザスキャナとモバイル端末で取得した三次元点群です。形状の鮮明さは地上型レーザスキャナが顕著ですが、モバイル端末では安価で簡便に取得できる利便性を持ち合わせています。

空間情報の適材適所な整備方法と空間情報を用いた活用を進めます。具体的には、画像やレーザを使った効率的、効果的な空間情報の取得方法に関する研究や異なる方法で取得されたデータの統合や処理方法などを開発します。また、空間情報の活用では、シミュレーションなどを基にハザードマップの構築方法を検討します。

## 今後の展開やメッセージ

センサや技術の革新が顕著な空間情報を活用して作業の効率化や利便性や価値を高め、これまで以上に有意義で安全安心な社会につなげましょう。

## 研究者情報

中野 一也 教授・博士（工学）
工学部　環境土木工学科

研究者情報URL
https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/CDAAF.html
https://researchmap.jp/k_nakano_kit